

計理士法案外二件特別委員會會議事速記録第五號

昭和二年三月十二日(土曜日)午後一時二十九分開會

○委員長(子爵會我祐邦君) 唯今ヨリ前回ニ引續キ計理士法案ノ委員會ヲ開キマス、引續キ質問ヲ許シマス

○松本勝太郎君 政府委員ニ伺ヒマスガ、本案ノ附則ノ中ニ「計理士試験委員ノ銓衡ヲ經テ計理士タルコトヲ得」ト云フコトガアリマスルガ、茲ニ記サレテ居リマス銓衡ト云フコトニ付キマシテノ銓衡ノ程度ハ如何ナルモノデアリマスルカ、其點ヲ伺ヒタイ、本案第二條ノ意義ニ依リマスルト「計理士試験ニ合格シタルコト」トアルノデアリマス、即チ試験ニ合格シタルモノヲ以テ計理士タル資格ヲ有スト云フコトニナツテ居ルノデアリマスルガ、第三條ノ二號三號其他附則ヲ通覽致シマスルノニ、無試験若クハ計理士試験委員ノ銓衡ヲ經テ計理士タルコトヲ得ト云フコトニナツテ居リマスルノデ、無試験ノ範圍ガ非常ニ廣イヤウデアリマス、殆ド試験制度ト云フヨリモ無試験制度ト云フコトガ、當テ居ルヤウニ考ヘラレルノデス、是ニ於テ此計理士試験委員ノ銓衡ヲ經テ計理士タルコトヲ得ト云フ銓衡ノ程度ナルモノガ非常ニ意義ヲ持ツコトニナルノデアリマスルガ、此銓衡ナルモノノ程度ヲ御示シテ願ヒタイ

○政府委員(野村嘉六君) 唯今御質問ノ附則ノ三項「計理士試験委員ノ銓衡ヲ經テ計理士タルコトヲ得」此計理士試験委員ノ銓衡ヲ經タル者ト云フ適用ノ場合ハ何處ニ在ルカト云フ質問デアリマス、是ハ試験ヲセズニ銓衡ヲ計理士ニナリ得ルノデアリマ

スルガ、サウ云フ一體、有資格者何處ニ在ルカト云フコトニ歸著スルノデアリマスガ、ソレハ今日現ニヤツテ居リマス會計士デアリマス、會計士ハ御承知ノ如ク別ニ一定ノ法規ガアツテ其法規ニ基イテ居ルノデアリマセヌ、任意ニヤツテ居ルノデアリマシテ、サウシテソレヲ一ツノ自由職業トシテ扱ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、其人間ノ數モ二百人餘リ居ルノデアリマス、サウシテ多クハ會社其他ニ頼マレマシテ、ソコデ會計ノ検査トカ調査トカ鑑定トカ是等ノ事務ヲ行ヒマシテ、ソレデ一ツノ職業トシテ居ルノデス、ソコデ是等ノ今日現在ニ居ル會計士ト云フ者ハ、此計理士法案ガ御贊同ヲ得マシテ施行サレマス曉ニハドウナルカ、此處分方法ニ關スル規定デアリマシテ其時ニハ計理士試験委員ノ銓衡デ學力ナリ經驗ナリ人格ナリ、是等ノ要素ニ合格シタ人ヲ以テ計理士ノ資格ヲ與ヘル、又之ニ反シマシテ、此資格ニ合格セナイ者ハ簞ヒ落シマシテ計理士ノ資格ヲ與ヘナイ、即チ計理士ニナルカナラヌカト云フコトハ試験委員ノ銓衡デ定メル、斯ウ云フ意味合カラ此規定ヲ設ケタヤウナ趣意ナノデアリマス

○松本勝太郎君 唯今政府委員ノ御説明ヲ承リマシタガ、唯今政府委員ノ御説明ノ理由ハ能ク此案ニ依テ分ツテ居リマスルノデアリマスガ、私ガ御尋ネ致シマスルノハ銓衡ト云フモノノ銓衡方法、其程度ニ付テ御尋ネシタノデアリマス

○政府委員(野村嘉六君) 是ハ餘程嚴重ニ此銓衡ハヤル積リデアリマス、ト申シマスノハ、今日迄ソレヲ職業トシテ居リマス二

百何十名ノ人ガ居リマスケレドモ、其中ニハ非常ニ立派ナ人モ居リマス、學力人格共備ハッテ居ル人モ居リマスガ、中ニハ至ッテ人格モ餘リ良クナシ又學力モ餘リ良クナイ人ガアル、デ是等ノ人ニ對シマシテハ嚴重ニ銓衡致シマシテ簞ヒ落ス考デアリマス、サウシテ此銓衡スル試験委員ナルモノハ是ハ官吏側トソレカラ官吏以外ノ在野側ト、詰リ官民合同ノ方カラ出テ貰フコトニ致シマシテ、サウシテ此官民合同ノ委員ニ依テ銓衡スル考ヘデアリマス

○内藤久寬君 私モ二三御問ヒシタイノデアリマス、第一條「計理士ハ計理士ノ稱號ヲ用ヒテ」トアリマスルガ「稱號ヲ用ヒテ」ト云フ故ラニ此「稱號ヲ用ヒテ」ト御示シニナツタノハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(野村嘉六君) 是ハ其御問ヒノ「稱號ヲ用ヒテ」ト云フ意味ニ對シマシテハ、計理士ガ職務ヲ行フ時ニハ計理士ト云フ詰リ名前ヲ用ヒテヤルト云フ理由ハ、計理士ト計理士ニアラザルモノト最モ名晰ニ分ケル爲ニ此文字ヲ特ニ書イタヤウナ次第デアルノデアリマス、若シモサウデアリマセヌト云フト動トモスレバ此嚴格ナル計理士資格ヲ有セヌ者ガ計理士ノ稱號ヲ用キテ社會ヲ誤魔化スト云フ危險ガアルノデアリマスカラシテ、計理士ニ非ズシテ計理士ノ稱號ヲ用ヒタリ、計理士ニ致シマシテモ登錄等ヲセズニ計理士ノ稱號ヲ用ヒタ場合ニハ夫ニ制裁規定ヲ設ケマシテ、最モ嚴重ニ所謂社會ノ進運ニ添フ考ヘデ居リマス

○内藤久寬君 今御説明ノヤウデアリマスルト、計理士以外デハ此計理士ノ職務ヲ行

フモノガナイヤウデアリマス、其規定ト云フモノハ、今御説明ノヤウナ規定ハ此案ノ中ニハ見エマセヌガ、ソレハドウ云フ手續デオシニナルノデスカ

○政府委員(野村嘉六君) 此中ニアリマス、此第十二條デアリマス「計理士タル資格ヲ有セズシテ計理士ノ業務ヲ行ヒタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス」ソレカラ十三條「計理士タル資格ヲ有スルモ其登錄ヲ受ケズシテ計理士ノ業務ヲ行ヒタル者ハ十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス」此十二條十三條ノ規定ヲ制裁法規トシタ次第デアリマス

○内藤久寬君 見落シマシタガ、果シテサウデアリマスルト云フト、此計理士ニナリマス時ノ手續ハ唯登錄サヘ受ケレバ宜シイノデアリマスカ、又何レカニ出願ヲシテ、其許可ヲ受ケテ登錄スルヤウナ譯ニナルノデスカ、イキナリ登錄スレバ宜イノデスカ

○政府委員(野村嘉六君) 是ハ先ヅ其計理士ノ資格ニ合格イタシマシテ、第二條、第三條ニアリマス、此第二條、第三條ノ資格ノ合格者ガ登錄ヲ受ケマシテ、即チ登錄ヲ願ヒ出マシテ、サウシテ登錄ヲ受ケマシテ、サウシテ計理士ノ職務ヲ正當ニ扱フコトガ出來ル、斯ウ云フコトデアリマス

○内藤久寬君 第三條ノ如キハ試験ヲ受ケル譯モナイノデアリマスガ、會計學ヲ修メタル經濟學博士又ハ商學博士及二號三號、斯ウ行キマスルト、此一號二號三號ニ當リマス者ハ別ニ試験ヲ受ケナイデモ宜イモノグラウト思ヒマスガ……

○政府委員(野村嘉六君) 御説ノ通りニ此

一號二號三號ニ該當スル者ハ試驗ヲ受ケナクテ宜イノデアリマス、尙ホチヨット先ニ言ヒ落シマシタガ、此外ニマダ此附則ノ方ニ、今日現ニ會計士トシテヤテ居ル者デ銓衡ヲ經タ人ニモ矢張り計理士ノ資格ヲ與ヘルヤウニナッテ居リマス、先程ノ松本サンノ御問ヒニナッテ居ルモノニ當ルコトニナッテ居リマス、之ヲ附加ヘテ申上ゲマス

○内藤久寛君 サウシマスルト、試驗ヲ受ケナイ者ハ別ニ出願スル必要モナク直グニ登錄ヲ受ケレバソレデ宜シイ譯デアリマスカ

○政府委員(野村嘉六君) 御説ノ通りデアリマス

○内藤久寛君 此計理士試驗制度ニ關スル規定ハ別ニ是ハ勅令カ何カデ出ルノデスカ

○政府委員(野村嘉六君) 其考デゴザイマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 此際チヨット

委員諸君ニ御相談イタシタイノデゴザイマスガ、藤澤サンカラ委員外デアルケレドモ、質問ヲ許シテ戴キタイト云フノデアリマスガ、委員諸君ニ御異存ゴザイマセヌカ

○委員外議員(藤澤利喜太郎君) 是カラ御

忙ガシイ際ニ必要ナ御時間ノ御割愛ヲ願フ

ト云フコトハ甚ダ恐縮デゴザイマスガ、此

計理士ニ付テハ昨年は元來提出サレル譯

ニナッテ居リマシテ、其時分カラ種々ノ意見

ニ接シテ居リマス旁、丁度唯今質問中デ

アルト云フコトデアリマスノデ質問ノ形ニ

於テ申上ゲタイト思ヒマス、ソレデ其「ア

クチュアリー」トソレカラ計理士、計理士

ノ業務ハ「アクチュアリー」ノ業務マデモ包

含スルモノデアルヤ否ヤト云フヤウナ點ニ

付テ一二申上ゲタイ次第デアリマス、其前

提トシマス所ノ此保險、殊ニ生命保險ニ付

テ序論的ニ一言申上ゲタイト存ズル次第デアリマス、實ハ先頃此保險法ガ本會議ニ上程ニナリマシタ際ニ質問ノ形ニ於テ述ベタイト思フテ居リマシタ、少シ遅刻イタシマシテ議場ヘ出テ見マシタ所ガ既ニ濟ンデ居ル、ソレ故機會ヲ失シタ譯デアアル、併シ其當日阪本君之助君カラ私ガ意中ニ有ッテ居リマシタヤウナ事柄ニ多少關係ノアルヤウ

チ事柄ヲ質問サレタカニ後デ速記録デ承知シタ次第デアリマス、デ此「アクチュアリー」ヲ公認スル上云フコトハ非常ニ肝要デ、殊ニ今日肝要デアルト云フコトヲ申上ゲル

ニ付テ、ドウシテモ、其生命保險事業ニ付テ事餘談ニ互ル如クニ見エマスガ、實ハ餘談ニ互ルノデハナイノデアリマシテ、一應

申上ゲルコトガ必要ト存ジマス、ソレニハ更ニ週テ此通貨ノ價值ノ變動ト云フコト

ニ付テ、我國ハ今日マデハ非常ニ特殊ナ狀況ニアッタ、ソレニ論據ヲ以テ御話スル

コトガ必要ト存ジマス、此世界、廣イ世界ニ於キマシテハ大戰ノ始マリマスヨリ...

約百年ノ間ト云フモノハ通貨ノ價值ガ歴史ニ稀ナル程ニ安定ヲシテ居リマシタ「ナポレオン」戰爭後カラシテ丁度大戰ノ...

タ時代ニ發達シタモノデアアルノデアリマス、此通貨ノ價值ノ變動ト云フコトニ付テハ、生命保險ニ關スル所ノ施設上、何等疑念ヲ挾マズニ、通貨ノ價值ト云フモノハ常ニ安定シテ居ルモノト云フ假定ノ...

假定デヤナイ、殆ド其當時ハ事實ト看做サレタ、其狀況ノ下ニ於テ凡テノ施設モサレ、又保險事業、生命保險事業其モノガ發達シテ參タノデアリマス、ソレハ世界の

ニ申上ゲル次第デアリマス、我が日本ニ於テハソレトハ全然狀況ヲ異ニシテ居タ、世

界ニ於ケル一小局部デアアル所ノ日本ニ於テハ全然...

ガ諸種ノ材料デ調べマシタノハ、明治ノ初年ト今日トハ...

スコトハ難カシイノデアリマスガ、凡ソ通貨ノ價值ガ十分ノ一ニナッテ居ル、マアソレ

ニ付テハ固ヨリ多少根據モゴザイマシテ、刷物モ皆サンニ差上ゲタイノデアリマスガ、部數ガナイノデ、委員長ト副委員長ダ

御承知ノ通り、生命保險ノ場合ニ於キマシテハ、長イ間ノ契約デアアルノデアリマス、長イ間ノ契約デアリマスカラシテ、此通貨ノ價值ノ變動ト云フコトハ非常ニ影響ヲ持

テ居ル譯デアリマス、是ハドウシテモ大改革ヲシナケレバナラヌト云フノデ、本年ノ六月ニ此生命保險ノ所謂「アクチュアリー」ノ萬國會議ト云フモノガ倫敦ニ於テ開カレル

ノデアリマスガ、其論題ノ一大眼目ハ、通貨ノ價值ノ影響ニ對スル所ノ生命保險ニ於テ行フベキコト、考フベキコト、云フノ

ガ、一ツノ論題ニナッテ居ルヤウナ譯デアリマス、日本ニ於キマシテハ、生命保險ト云フモノハ非常ニ結構ナ發達ヲシテ、誠ニ

喜バシイ發達ヲシタト云フノハ是ハ無理ノナイ話デアアル、當リ前ノ話デアアル、通貨ノ價值ガ約十分ノ一ニナッテ居ルデアリマス

カ、保險會社ガ受取ル時ノ一圓ト云フモノハ支拂フ時ノ十錢ニシカ當ラナイ、受取ル方

ノ金ハ高イ金デアッテ、支拂フ時ノ金ハ約十分ノ一ト云フノデアリマスカラ、保險會社ガ儲カルノハ無理ガナイ、從テ明治ノ二十二年、丁度私ガ初メテ日本ニ於ケル世ニ藤澤死亡生殘表トシテ知ラレテ居ル死亡生殘表ヲ作りマシタ時分ニ、保險會社ト云フモノハ僅ニ一ツカニツシカナカタノデアリ

マス、其中ノ一二ノモノハ、若シ此通貨ノ價值ノ變動ガナカタナラバ全然破產狀態ニ於テアッタ、然ルニソレガ日露戰役ヲ經マシテ通貨ガアスコデ急激ニ下落シテ居リマス...

ノ狀況ニアツタ生命保險會社ガ當ニ其狀況ヲ恢復シタノミナラズ、更ニ進シテ非常ニ有利ナ事業ニナツタヤウナ譯デアアル、從テ利益ノアル所ニハ蟻ガ著イテ、色ミノ保險會社ト云フモノガ：當局者ノ方ニモ多少ノ監督ハ行ハレタデアリマセウガ、先ヅ私共ノ局外者カラ申シマスレバ、實ハ多過ギル程澤山アル、從テ被保險ヲ得ル上ニ於テ極端ナル競争ガ行ハレル、デ若シ通貨ノ價值ノ下落ト云フコトガナカタナラバ、到底成立ヲ得ナイ所ノ狀況ニ於テアツタノデアリマス、併シ最早日本ノ通貨ノ價值モ略、世界的ノ水平ニ達シテ居リマス、今後斯ウ云フヤウナ受取タ時ノ金ハ一圓、支拂フ時ノ金ハ十錢デ済ムト云フヤウナ狀況ハ決シテ行ハレヌト思ヒマス、從テ我國ノ生命保險事業ト云フモノハ、今後可ナリ難局ニ處スルモノト考ヘナケレバナラヌト思ハレルノデアリマス、此通貨ノ價值ノ下落ニ付テハ、モウチヨット申上ゲタイト思ヒタノデアリマスガ、幸ヒ丁度、昨年此「アクチュアリー」會ノ創立二十五年ノ時分ニ、私ガ其事ニ付テ特ニ可ナリ長ク演說シマシタモノガ、此「アクチュアリー」記念講演論文集ト云フモノニ載テ居リマス、之ヲ一部貴族院圖書室ニ寄贈シテ置キマシタ、若シ其方ニ御趣味ノアラシヤル御方ハソレニ付テ御覽ヲ願ヒタイト存ジマス、時間ヲ省略シマス爲ニ、總テ通貨ノ價值ノ下落及ビソレニ伴フ善後策ニ付テハ何等申上ゲマセヌ、總テノコトニ付テ：保險ニ限ラズ、豫算ニ付テモ、金錢ニ付テモ、總テ此金錢上ノ問題ニ付テハ、通貨ノ價值ノ變動ト云フコトハ、是ガイツモ度外視サレテ居ルヤウニ私ハ考ヘル、從テ總テノ議論ガ不徹底ニナルコトヲ免レナイ、今後ハ大ニ之ニ付テ注意ヲシナケレバナラヌ、又注意ヲシナケレ

バナラヌ所ノ必要ト云フモノガ段々起テ來ルダラウト私ハ思ハレル、ソレガ爲ニ意外ノ損ヲ生意外ノ得ヲスル、現ニ或ル生命保險會社ノ株券ノ如キハ百圓ノ株券ガ三千圓ノ値打ヲ持テ居ルト云フコトハ事實上アル、サウ云フ不都合ナコトガドウシテ有リ得ルカト言ヘバ、ソレハ全ク通貨ノ價值ノ下落ト云フ、多クノ世人ノ眼ニハ觸レナイ原因ニ根據スルコトデアアルノデアリマス、ソレガ先ヅサウ云フ會社ガ榮エルト云フ上カラ言ヘバ、誠ニ結構ナコトデ、一方政府ガ監督スル方カラ言ヘバ其方ハ先ヅ適當ノ監督ガナクテモ、本來嚴正ナル意味ニ於テ正義ノ觀念ニ於テ立ッタナラバ、サウ云フ會社ト云フモノハ不都合ナモノデ、其利益ト云フモノハ被保險人ニ割戻サナケレバナラヌモノト思フノデアリマス、併シサウ云フ極端ナ說ト云フモノヲ此俗世界ニ行フコトハソレハ無理ト思ヒマス、今後ハ通貨ハソレ程ニ下落シナイトスルト云フト、隨分、此生命保險ノ今後ト云フモノハ、既ニ基礎ガナツテ居ルモノハ宜イカモ知レマセヌガ、可ナリ困難ヲ感ズルト云フコトハ、豫メ見テ置カケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、扱テ殊ニ最近ノ極ク惡イノト思ヒマスルノハ、資産家ガ生命保險會社ヲ自分ノ機關ニスル、尤モ資産家ガ自分ノ機關銀行ヲ持ツト云フコトハ餘程カラ行ハレテ居、ケレドモ、銀行ノ預金デアレバ何時デモ引出サレル、保險會社ノ預金ナラバ何時デモモチャント引出サレズニアル、誠ニ資本家ノ爲ニ便利デアアル、元來、保險、殊ニ生命保險事業ニ付テハ性質上サウ云フ場合ニ利用サルベキモノデナイ、ケレドモ、事實ドウモ仕方ガナイ、デ此前、言葉短カニ、私ノ意味ノアル所ヲ申上ゲル爲ニ申上ゲタイノデアリマスガ、先達テ高田商會

ト云フモノガ破産シタ、同時ニ高田商會ノ機關銀行デアアル所ノ永樂銀行ナルモノガ破産イタシマシタ、結局、破産ニ等シイ結果ニ陥ッタク考ヘマス、若シアノ時ニ不幸ニシテ高田商會ナルモノガ機關生命保險會社ヲ持テ居リマシタナラバ、其生命保險會社ノ破産ト云フモノハ、可ナリ悲慘ノ社會ニ害毒ヲ流シタデアラウ、之ヲ想像スルダニ實ニ身震ヒガスルヤウナ次第デアリマス、併シサウ云フ傾向ハ現ニアルノデアリマス、今日、大會社トシテ知ラレテ居ル所ノ生命保險會社デ、今現ニ現在、今日、唯今賣物ニ出テ居ルモノナドモ承知シテ居リマス、サウ云フ傾向ガアリ、一方ニハ通貨ノ價值ノ下落ト云フモノハ：保險會社其モノニ非常ニ都合ノ好イ通貨ノ下落ト云フコトハ期待スルコトガ出來ナイコトニナリマシタ、今後ノ生命保險事業ノ監督ト云フヤウナモノハ、餘程當局者ニ於テモ非常ニ其注意ヲ拂ハレンケレバナラヌコトト思フノデアリマス、實ハ先達テノ保險法ノ改正ト云フモノハ誠ニ小改正ニ過ギナイ、又當局者ノ方カラモ追テモウ少シ根本的ノ改正ヲシタイト云フヤウナ御希望ガ現ハレテ居、タカノヤウニ承知シテ居リマス、是等ハ至極御尤モノコトト思フノデアリマス、儲テ此計算ハ數ガ非常ニ澤山ニナリマシテ、又ソレガ種々ノ項目ニ分レテ來タ時分ニハ、ソレニ付テ殊ニ當局者デナイ門外漢ガ十分ナ目ヲ通スト云フコトハ是非非常ニ難カシイコトデアリマス、從テ此計理士法案ノ必要モ起ル、殊ニデス、此生命保險事業ノ事柄ニ付キマシテハ、何ト言ヒマシテモ生死ト云フヤウナ事柄ガ計算ノ中ニ這入ッテ來ル、責任積立金ヲ計算イタシマスニ付テモ、其責任積立金ノ計算ノ仕方ナドニ付テモ、昨年邊リハ時ノ商工省ト保險業者ト

ノ間ニ種々ノ經緯ガアツタノデ、ソレニ付テモ一二述ベタイノデアリマスガ、是ハ他ノ機會ニ讓ルコトニ致シマス、ソレニ付テハマア色ミボンヤリシタ考ハ可ナリ世間ニ行渡ッテ居ル、例ヘバ「ナルメル」式ト云フヤウナコトガ大變議會デ歌ハレタコトガアル、其「ナルメル」式ニモ種々ノ解釋ガアル、其論點ノ弱點ニ付テモ色ミアルノデアリマスガ、サウ云フ事柄ニ携ハリマシテハ切りガナイコトデアリマスカラ總テ略スルコトニ致シマスルガ、兎ニ角生命ト云フヤウナコトガ計算ニ這入ル、即チ不確定ノ時日ガ計算ニ這入ル、其計算ト云フモノハ可ナリ込ミ入ッテムヅカシイモノデアルト云フコトハ、是ハ御下承ヲ願ッタモノト心得テモ差支ナカラウカト考ヘル、從テソレニハ特別ノ専門家ヲ要スルコトハ是ハ申スマデモナイ、其専門家ガデス、我國ニハドウモ適當ナ言葉ガアリマセヌデ、矢張り外國語ヲ翻譯シテ、之ヲ「アクチュアリー」ト稱ヘルコトニシテ居リマス、其「アクチュアリー」ノ任務ハ何デアアルカト云フト、其事柄ヲ精シク、概略デモ申シマスコトハ隨分骨ガ折レルト思ヒマスカラ、此處デハ省ク次第デアリマスガ、ナカノ難カシイモノデアリマシテ、サウシテ又此「アクチュアリー」ガ我國ニ於テ健全ナル發達ヲ見ルト云フコトハ、私、今日ハ隱居デアリマスガ、或ル時代ニ於テハ殆ド自分ノ責任ノヤウニ實ハ感ジテ居リマシタ、ドウカシテ我國ニ於テ立派ナ「アクチュアリー」ガ出來、又「アクチュアリー」ノ事業ト云フモノガ健全ナル發達ヲ遂ゲルコトニ付テハ、自分ノ最善ノ努力ヲ實ハ盡シテ居リマシタガ、又種々ノ方面カラ御援助ヲ戴イテ居、タ次第デアリマスガ、ドウモ事志ト違、テ思フヤウニ發達シテ來ナカタノデアリマス、一番「アクチュアリー」ガ最モ

發達シテ居リマスノハ是ハ英國デアリマシ
テ、英國ニ於ケル此「アクチュアリー」ノ組
織ト云フモノハ非常ニ工合良クナリテ居
リマス、ソレハ政府デスルノデナク、「イ
ンスティテュート・オブ・アクチュアリー」
ト云フモノガアル、是ハ一方ニハ學校ノヤ
ウナモノデアテ學校ニアラズ、試験機關ノ
如クニシテ、試験機關バカリデハナイ、是
ハ倫敦ノ「シテイ」ニ立派ナ、而モ由緒ア
ル建物ヲ有テ居リマシテ、單リ生命保險ニ
限ラズ、ソレニ關係ノアル書物ノ蒐集ニ於
テハ、世界ニ類ノナイ程澤山ノ書物ヲ有テ
居リマス、ソレハ一種ノ協會、所
謂協會ト云フノハ宗教ノ教會デハナイ、普
通ノ協會、一種ノ會合ノヤウナモノデア
ル、サウシテ、ソレハ此「アクチュアリー」ニ必
要ナル學問ノ課外講義ノヤウナモノヲ時々
ヤッテ居リマス、私ノ知人、友人ナドノ中ニ
モ其課外講義ヲ引受ケテ居タ者ガアリマ
ス、ソレカラ「アクチュアリー」ノ試験ヲヤ
ル、是モ一回ノ試験デハナイ、第一次ノ試
驗、第二次ノ試験、第三次ノ試験ト云フヤ
ウニ、確力第三次ノ試験マデアツタト考ヘ
テ居リマスガ、試験ヲ致シマス、試験ヲス
ル時分ニハ適當ニ試験官ヲ不斷、其會ノ專
屬ノ人以外ニ頼シデヤルト云フヤウナコト
モアル、從テ其「インスティテュート・オブ・
アクチュアリー」カラ「アクチュアリー」タ
ル所ノ免狀ヲ出ス、ソコノ免狀ト云フモノ
ハ、廣ク世界ニ於テ堅實ナ、非常ニ信用ヲ
受ケテ居ル、日本人ニシテ其英吉利ノ「イ
ンスティテュート・オブ・アクチュアリー」
ノ免狀ヲ持テ居リマス者ハ、私ノ知テ居
リマス限リデハ唯、一人アル、ソレハ明治
生命ノ重役ヲシテ居リマス所ノ海老原介太
郎ト云フ人デ、皆様ノ御手許ニ差上ゲマシ
タ書類ニハ……是ハ昨年此「アクチュアリー

」ノ方ノ會長ヲシテ居リマシタ人デアリ
マス、モウ一人アリ掛ケタノデアリマス、
ソレハ竹下清松ト云ヒマシテ、私が世話ヲ
シタ者デアリマス、是ガ外國ヘ「アクチュ
アリー」學ノ研究ニ參リマシテ、其時ニ私
ハ是非「インスティテュート・オブ・アク
チュアリー」ノ試験ヲ經テ來ルヤウニ命ジテ
置イタノデアリマス、所ガ、丁度不幸ニシ
テ其時ハ戰爭中デアリマシテ、其試験ガ中
絶シテ居タ、ソレナヤウナコトデ到頭試験
ヲ通過シナイデ歸ッテ參タノデアリマス、
是ハ元農商務省ノ保險課ニ居タ者デアリ
マス、ソレナヤウナ譯デ實際「インステ
ィテュート・オブ・アクチュアリー」ノ免狀ヲ
得タ人ハ、私ノ狭イ範圍ニ於テハ海老原君
ヨリ他ニナイト思ヒマス、併ナガラ、サウ
ニ云フ徑路ヲ經テ此「アクチュアリー」ト云フ
コトガ日本ニ行タ、併シ私ハ「アクチュ
アリー」ト云フ名前ヲ濫用スルト云フヤウ
ナコトガアツテハナラズト云フコトヲ兼々
主張シテ居リマス、サウ云フヤウナコトデ
アリマシテ、是ハ現ニ東京ニ、勿論私ノ説
ニ依テ設ケラレタモノデアリマスガ、「ア
クチュアリー」ノ會ト云フモノガアツテ、
其會ノ正會員ニナルト云フコトハ非常ニ
ムヅカシイコトニナツテ居ル、現在ハ三十
一名アツテ何レモ皆ナ立派ナ人ラデア
ル、此以外ニモ若シ大目ニ見マシタナラバ、「ア
クチュアリー」ト名乗ラレテ然ルベシト思フ
ヤウナ人モアリマスガ、サウ云フ人ト雖モ
容易ニ此「アクチュアリー」會ノ正會員ニハ
シナイト云フヤウナ風ニ、此「アクチュ
アリー」會ト云フモノガ發達シテ來テ居ル
デアリマス、ソレデ先刻餘談ニ互ル嫌モ憚
ラズシテ、敢ヘテ此保險業ニ付テ一般ノ觀察
ヲ申上ゲマシタノハ、今後ノ保險業ト云フ
モノハ可ナリ困難ナ地位ニ立ツデアラウト

思ハレル、其場合ニ至テ保險會社ノ資産
ノ狀態、資産運用ノ狀態等ヲ監督スルト云
フコトハ非常ニ必要ナコトニナル、監督上
ノミナラズ、社會的ノ問題トシテ非常ナル
必要ノコトデア
ル、其場合ニ於テ、此「ア
クチュアリー」ト云フモノノ、殊ニ有力ナ
ル「アクチュアリー」ノ存在ノ必要ト云フ
モノヲ、痛切ニ國家ハ感ズデアラウ、
ノミナラズ、此「アクチュアリー」ト云フモ
ノヲ公認サレタラ宜カラウ、ソレデ皆様ノ
御手許ニ、一昨年ノ十二月ニ此「アクチュ
アリー」會長カラシテ出サレマシタ意見書
ト云フモノハ、此會計士法案ト同時ニ……
其時分ニハ會計士ノコトハ會計士ト云フ
居タト思ヒマス、茲ニ會計士トアリマス
ガ、會計士ガ計理士トナツタノハ確カ昨年
頃デアリマシタラウネ……同時に「アク
チュアリー」ヲ保險業法ノ中ニ置イテ公認シ
テ賞ヒタイト云フコトデアツタ、ソコデ此計
理士法案ガマダコナラニ提出ニナル前
ニ……是ハ内輪ノコトデスガ、茲ニ商工省
ノ當局者モ居ラレマスガ、申上ゲテモ別ニ
差支ナイト思ヒマスガ、此「アクチュアリ
ー」ト計理士ノ關係ヲドウシヤウト云フコ
トニ付テ、色々御詮議モアツタサウデア
リマス、私ハ此「アクチュアリー」會ヘ御諮詢
ニナツタカノヤウニ承知シテ居リマシテ、
念ノ爲ニ確カメテ見マシタガ、サウデハナ
カッタ、併ナガラ多分其「アクチュアリー」
會ニ密接ノ關係ヲ持テ居ル人達ニハ御相
談ニナツタコトト思フ、即チ愈々計理士法案
ト云フモノヲ出スニ付テハ、此計理士「ア
クチュアリー」ノ仕事マデモサセルカ、其
處ノ處ヲドウスルカト云フコトヲ、或ル一
部ノ人ニ、仄聞スル所ニ依レバ、御諮問ニ
ナツタカノヤウニ承知シテ居リマス、マア
其點ニ付テ後カラ伺フコトガ出來レバ大變

仕合せニ思ヒマスガ、ケレドモ、私が二
間合せマシタ所デハ、其御諮問ニ付テハ餘
リ要領ヲ得タ形ニ於テ結果ガ舉テ居ラナ
カッタヤウニ承知シテ居リマス、詰リ、少
シ語弊ガアリマスガ、曖昧ニ終タカノヤ
ウニマア私ハ聞イテ居リマス、果シテソレ
ガ事實デア
ルヤ否ヤ、御差支ノナイ限り、
チヨット承ハッテ見タイト思フノデアリ
マス、ソコデ隨テ主ナル點ハデス、私ノ伺
ヒタイト思ヒマス主ナル點ト云フモノハ、
「アクチュアリー」ノ仕事デスネ、「アク
チュアリー」ノ仕事ト云フモノヲ計理士ガ
スルモノデアリマスガ、皆様ノ御手許ニ互
テ居リマスナンデハ書面ニモ書イテアリ
マスヤウナ「アクチュアリー」ノ仕事ハ、矢張
リ「アクチュアリー」ガシテ、ソレカラ計
理士ガサウ云フ仕事ヲスル場合ニ於テハ、更
ニ信認アル「アクチュアリー」ト協同シテヤ
ルカ、或ハ計理士自身ガ「アクチュアリー」
ノ資格ヲ得テスルカ、何トカ此「アクチュ
アリー」ノスル仕事ト、普通ノ計理士ノス
ル仕事トハ違テ居ルノデアリマス、又普通
ノ唯ノ計理士ニ此「アクチュアリー」ノ仕事
ヲサセルト云フコトハ、是ハ無理ナコトデ
アル、ソレニ付テモウ少シハッキリ要領ヲ
得タ形ニ於テ、總テノコトガ處理セラレ
コトヲ希望スルト云フ意味ガ之ニ載テ居
ルノデアリマス、其點ハ私モ今回提案ノ計
理士法案ヲ見マシテ、ドウモハッキリ致シ
マセヌノデ其點ヲ伺ヒタイ、ソレカラ斯ウ
云フ風ナ特別ノ御許シヲ得テ申上ゲル序デ
ナガラ、計理士法ソノモノニ付テハ「二ノ
考ヲ述ベルコトニシテ置キタイ、此案ノ成
立ヲ見マス」ト云フ、似タヤウナ場合ガ、
實ハ色々何等カ政府ガ資格ヲ認ムル、資格
ト云フノハ、例ヘバ教員ノ資格デモ、或ハ
船長ノ……船員ノ資格デモ、總テ資格ヲ認

メルト云フコトニ關スル在來ノ振合ガアツテ、大體、其振合ニ是ハ依ラレタモノデア
ルト私ハ認メル、併シ其一般ノ振合ニ付テ、元來、我國ノ組織ニ非常ニ不徹底ナコトガアルノデアリマス、成ルベク言葉ヲ短カク私ノ意味ヲ言ヒ現ハサン爲ニ、帝國大學ノ場合ヲ申上ダタイト存ジマス、帝國大學ニ卒業試験ト云フコトガアルノデアリマスガ、是ハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、アノ中デタツターツ特別ノ試験ガアル、ソレハ醫科大學ノ試験デアリマス、御承知ノ通り帝國大學ニハ法學部、文學部色メノ學部ガアリマスガ、其卒業試験ノ中デ醫科大學ノ試験ダケガ全然性質ヲ異ニシテ居ルソレハドウ云フ意味カト申シマスルト、寧ロ此醫科ノ事柄ハ多クハ其範ヲ獨逸ニ取タノデアリマス、獨逸ニ於テドウナッテ居ルカト云フコトヲ申上ダマス、尙ホ此コトガ明ニナッテ参リマス、獨逸ニ於テハ所謂學位試験ト云フモノハ、全然其開業醫ニナルト云フヤウナ上ニ於テハ價值ノナイモノデアアル、何モ役ニ立たヌ、開業醫ニナル爲ニハ「スターツ・エクサーメン」ト云ヒマシテ即チ國家試験ト云フモノガアル、ソレデアリマスカラシテ、明治ノ初年ニ於キマシテモ、我國ノ醫科ノ制度ヲ立テル時分ニハ多分色メ議論ガアツト思ヒマス、何分、我國ニ於テハ總テノコトガ不整頓デアリマスカラ、大學ノ卒業ト云フコトガ大學ノ卒業デ其儘ニシテ、開業醫ニナル試験ヲ別ニスルコトハ可ナリ困難デアアル、ソレデアラカラシテ、一層ソレハ大學ノ試験ト、ソレカラ今ノ學位試験ト合併シヤウト云フドウモソレヨリ外ニ實際上ノ問題トシテ方法ガナイト云フノデ、醫科大學ニ限テハ、アノ卒業試験ト云フモノハ國家試験ヲ合ハセテ居ルト云フ特別ノ性質ヲ持ッテ居ル、其性質ハ外

ノ分科大學ニハ適用シナイノデアリマス、若シソレニ類似ノコトヲ考ヘマシタナラバ、高等文官試験ヲ經テ法學士ハモウ大學ヲ卒業シナイデモ法學士ニナルト云フヤウナコトニナル、若シ高等文官試験ト大學卒業試験ガ一緒ニナッテ居リマシタナラバ、更ニ高等文官試験ヲ經ナイデ大學卒業ノ資格ヲ得ラレルト云フヤウナコトニナリ、醫科ノ方ハサウ云フ違ヒニナッテ居ル、從テ醫科ノ方ハ私ハ専門外デアリマスガ、アノ醫科ノ卒業試験ト云フモノハ、矢張り此獨逸ノ開業醫ノ試験ノ如クニ病院ノ患者ヲ取扱フトカ、種々國家試験ノ性質ヲ帶ビテ居ルモノデアアル、サウ云フ區別ハ此廣イ世間ニ中行渡ラヌ、ソレ故ニ何カノ卒業ト云フコトヲ直チニ之ヲ資格ニスルト云フコトガ行ハレテ、ソレガ幾多ノ弊ヲ醸シテ居ル、是ハ單ニ計理士ニ限ラズ、總テノ場合ニ付テ早晚一大變革ヲ施サナケレバナラスモノト私ハ考ヘル、從テ此計理士法ニモ、第三條ニ「會計學ヲ修メタル經濟學博士又ハ商學博士」、會計學ヲ修メタル經濟學博士ト云ヘバ是ハ帝國ノ經濟學部ヲ卒業シタ者デ、博士デアリマスカラ、ソレニ論文ヲ提出シテ學位ヲ得タ者デアラウト思ヒマスルガ、又其次ノ條ニ依リマスルト、單ニ卒業シテ學士ト稱スルコトヲ得ル者モ同様ノ資格ヲ持ッテ居ル、即チ會計學ノ科目ヲ修メタ者ト云フコトニナッテ居ル、サウ云フコトデ以テ此計理士ト云フヤウナ資格ヲ與ヘルト云フコトハ、私ハ宜シクナイト云フ持論ヲ有テ居ルンデアリマスカラ、何等カノ機會ニ單リ此計理士ニ限ラズ、總テノ事柄ニ付テ是非トモ是ハ全ク廢止シテシマハナケレバナラヌト云フ私ハ元來持論ヲ有、テ云ルモノデアリマス、若シ此計理士法案ガマダ衆議院モ經ズ、最初ニ提出セラレタ場合デアッ

タナラバ、先ヅ以テサウ云フヤウナ面白クナイコトナラバ、何時カラ初メテモ宜イコトデアリマスカラ、此案ニ付テ斯ウ云フ箇條ノ削除ト云フコトヲ主張シタイノデアリマスガ、併シ今日ハ既ニ衆議院モ通過シ、又衆議院ニ於ケル委員會ノ經過モ一應素讀イタシマシタ次第デアリマス、併シソレ等ノ點ニ觸レタ點ハ載ッテナイヤウデアリマス、斯ノ如ク浩漭ノモノデアリマスカラ政府委員ニ伺ヒマスガ、多分、其點ニ觸レタコトハナカラウト思ヒマス、又實際問題ノ議論トシテハ、斯ノ如ク唯今申上ダマシタコトニ忠實ナランコトヲ期スルノデアリマシマスガ、出來ルナラバ、計理士ト云フモノハ先刻、英吉利ノ「アクチュアリー」ニ付テ即チ「インステイテュート・オブ・アクチュアリー」ニ付テ述ベマシタヤウニ、此經路ヲ以テ此「アクチュアリー」ト云フコトニ任ズルト云フコトニ、理想カラ言ヒマスルナラバ、シタイノデアリマス、尙ホ誤解ヲ防グ爲ニチヨット茲申上ダマス、船員ノ場合、船員ノ場合ハ是ハ商船學校ノ卒業生ニシテ云々ト云フ船員ニナル經過ト云フモノハ、皆様御承知ノ次第デアリマスガ、アレハ商船學校ト云フモノハ是ハ寧ロ練習所ト云フヤウナモノニ同ジク學校ト云フ名前ヲ附シテハ居リマスルケレドモ、併シ是ハ陸海軍ノ學校ニシテモ同ジデアリマス、士官學校ニ對シテモ、經理學校ニ致シマシテモ、或ハ機關學校、是ハ特別ニ或ル職業ニ從事サセルト云フコトヲ直グ眼ノ先ニ以テ教育スル所デアリマス、其方ノ最も手短カナ例ハ通信官吏練習所、是ハ實際通信省デ使フ……通信省デ使ッテ更ニ有用デアルヤウナ事柄ヲ教ヘル、斯ウ云フヤウナ所ヲ卒業シタモノト一般ノ學校ヲ卒業シタモノハ、是ハ區別シナケレバナラヌノデアリマス

ガ、併シ或ル場合ニハ練習所ト云フ言葉ヲ使ヒ、或ル場合ニハ學校ト云フ言葉ヲ使フ、詰リ學校ノ中ニ色メノ學校ガアル、私ノ申上ダマシタ例ハ船員ノ場合ニ當ルマラヌガ、サウ云フコトヲチヨット此處ニ但シ書トシテ添ヘテ置キタイノデアリマス、ソレデ計理士法案ガ此處ヘ愈、現ハレル成行キハ、是ハ餘リ穿ッタ場合カ存ジマセヌガ、チヨット速記ヲ止メテ……
〔速記中止〕
○藤澤利喜太郎君　モウ宜シイ速記ヲ始めテ……ソレニ付テ思出シマシタノハ、初メテ亞米利加ニ於テ所謂「アッカウント」ガ問題ニナツタノハ、御承知ノ通り、是ハ英吉利ノ「チャータード・アッカウント」ト云フモノハ古イ歴史ヲ有テ居ル、又英吉利ノ國民性ト相俟ッテ非常ニ健全ノ發達ヲシテ居ルノデアリマス、現ニ私共ハ自分ノ專門カラ多少承知シテ居リマスルケレドモ、計理士ノ考ガ一般ニ廣ク世間ニ行渡ラヌハ、私ハ日糖事件ノ時デアラウト考ヘマス、アノ日糖ノ株ヲ當時ノ英國大使ノ「マグドナルド」氏ガ持ッテ居ラレタ、大變割合ノ宜イ株ダト云フノデ持ッテ居ラレタ、サウスルト、ア、云フ事件ニナッテ「マグドナルド」氏ハ非常ナ損ヲセラレタ、其時「マグドナルド」氏ガ發セラレタ言葉ニ、若シ日本ニ「アッカウント」ト云フモノ、計理士ト云フモノガアツタナラバ、コンナ目ニ合ウマイト、是ハ有名ナ言葉ニナッテ居ル、ソレ以來計理士ト云フ言葉ハヒドク我メノ耳朶ニ觸レテ居リマス、其クラキ英吉利デハ計理士ト云フモノガ發達シテ居ル、且又御承知ノ通り北海道ノ製鋼會社ナドハ、「アームストロング」トノ合同ノ事業デアリマス、アレヲ造ル條件ニハ、是非計理士ヲ使フ、「アッカウント」ヲ使フト云フコトガ、アノ最初ノ設立時ノ條件

デアル、從テ今日デモアノ製鋼會社ニハ現
ニ續演ニ居ル英吉利人ノ「アッカウント」ガ
アスコノ計理ノ職務ヲヤツテ居リマス、尙ホ
其下ニ日本人ノ計理士ガ二人居ル、其二人
ハ當時ノ高等商業學校ノ卒業生デアリマシ
テ、ソレヲ特ニ「アノ會社」成立タル爲ニ
英吉利ニ遣テ、此計理士ノ學問ヲサセ、
且ツ其實地ヲ見習ハセタ、其人ガ今日現在
二人アルト思ヒマス、一人ハ私ハ能ク承知
シテ居リマス、ソレガ續演ニ居ル計理士ノ
下ニ居テ、北海道ノ製鋼會社ノ中ノ計算
ヲ監督シテ居ル次第デアリマス、英吉利デ
ハモウ既に非常ニ發達シテ居タ時分ニ、マ
ダ亞米利加ニハ一向ニ發達シテ居ラヌ、ソ
レヲ或ル熱心家ガアツテ、亞米利加ニ於テ
モ是非「アッカウント」ガ必要デアルト言
時分ニハ、亞米利加ノ一般社會ト云フモノ
ハ非常ニ之ヲ冷眼ヲ以テ遇シタノデア
ルガ、ソレガ其後段々今日「パブリック・ア
ウント」ト云フモノガ出來テ、今日デハ亞
米利加デモ非常ニ發達スルコトニナツテ居
リマス、亞米利加ハ非常ニ健全ナル發達ヲ
シタノデアアル、ソレデ私ノ希望スル所ハ、
我國ニ於テハ今日ハマダ初メデアリマス、
併シ今後……殊ニ所謂監査役ノ制度ト云
フモノハ用テ爲サナイノミナラズ、或ル場
合ニハ却テ甚ダ不都合ヲ生ズルト云フヤウ
ナ我國ノ現狀ニ於キマシテハ、此會計士ノ
責任ト云フモノハ非常ニ重イモノデア
ル、從テ其會計士ト云フコトニ付テノ制度ト云
フモノハ、成ルベク其弊ヲ見タ後ニデス、
其弊ヲ見タ後ニソレヲ改メヤウトスル時
ハ、其場合ニハ種々ノ方面カラ反對ナドガ
起テ來テ、ソレヲ改正スルト云フコトハ
容易デナイノデアリマスカラ、餘リサウ云
フコトノナイ中ニデス、前途ニ付テ深ク慮
リヲ致シテ、成ルベク出來得ル限り完全ナ

ル案ヲ得タイト云フコトヲ希望スルノデ
ザイマス、其意味ニ於テ、此案ハマダ「
練テ欲シ」ト云フ私ハ希望ガアルノデア
リマス、併シ茲ニ皆様ノ御手許ニ廻テ居
リマセウガ、統計ガアリマス、隨分長イ間
度ニ是ハ議會ニモ出テ、或ハ審議未了、或
ハ衆議院可決云々ト斯ウ云フ経路ヲ經テ來
ルノデアリマスカラ、實際問題トシテ今日
既ニ衆議院ヲ通過シタ曉ニ於テ、是ガ茲デ
審議未了ニ終ルトカ、何トカ云フコトハ、
是ハ事實問題トシテ不可能デアルコト、
思フテ居リマスガ、是ガ縱令成立チマシテ
モ、早晚彼ノ保險法ノ改正ト同時ニ、是亦
近キ將來ニ改正ヲ要スルモノト思フノデア
リマス、デ現在ト致シマシテハ兎角此看板
ヲ求メタガル、經濟博士トカ、商業博士ト
カ「云々」テ……之ヲ「ラベル」主義ト云フ、
「ビール」罐ニ貼テ居リマスアノ「ラベル」
主義ト唱ヘマス、此「ラベル」主義ト云フモ
ノガ……一體日本ノ今日ノ畫一制度ノ教育
ナドト云フモノハ、皆ナ此「ラベル」主義ノ
弊害デアアル、ドウシテモ總テノ方面ヲ通ジ
テ、此「ラベル」主義ト云フモノヲ除カナケ
レバ昭和ノ維新ハ出來ナイト云フ位ニ、是
ハ私、「ラベル」主義ヲ排斥スル者デアツテ、
從テ此第三條ナドニ付テハ不同意デアリマ
スガ、今日はハ當局者ノ境遇モ察シマシ
テ、誠ニ致方ナイト私ハ考ヘマスガ、此計
理士ト云フ者ハ、唯コレ「ノ學位ヲ有テ
居テ、サウシテ會計學ヲ何時間修メタ
カ、少クモ何時間以上ヲ修メタ者トカ、何
トカ云フ、サウ云フ杓子定規ニ依ツテ、サウ
シテ此資格ヲ得ラレト云フコトハ間違
テ居ルコトデアルト思フ、是ハ私モ色ミサ
ウ云フ風ナ方面ノ人間ヲ養成シマシタ關係
カラ考ヘマスノニ、ドウシテモ實地ノ經驗
ヲ經ナケレバナラヌ、丁度醫者ガデス、大

學ヲ卒業シタバカリデハドウモイカヌ、病
院デ先生ノ助手ヲシテ、二年トカ三年……
ソレデ二年位ノ助手ニハ私ハ診テ貰フ氣ニ
ナラヌ、ソレデ私ハ醫者ヨリモ、モット是ハ
此方ガムツカシイト思ヒマス、辯護士ノ場
合モサウカト思ヒマス、若イ辯護士ガ辯護
士ヲ開業スルノニハ、今日ハ大抵經驗ノア
ル辯護士ノ所デ二三年事務見習ヲヤリマシ
テ、ソレカラ初メテ辯護士ヲ開業スルノガ
普通カト思ヒマスガ、此計理士ノ場合ニ於
キマシテモサウ云フヤウナ形ニナランコト
ヲ希望スル、尤モ我ハ計理士ニ付テハ人
格ノ高イコトヲ要望シナケレバナラヌ、是
ハ既ニコ、デ多分御話ガアツタコト存ジ
マスガ、資本利子税ノ計算等ニ付テ、自ラ
進ンデ俺ガヤツテヤラウト云フノデ、サウ云
フ弊害ガアツタ、是ハ新聞ニモ出テ居タ、
サウ云フ弊害ハ豫想ガ出來ル、若シ此人格
ノ低イ、而モ先刻御質問ガアリマシタヤウ
ニ、計理士ヲ用ケルコトヲ得ルト云フ、其
計理士ヲ用ケルト云フノデ、計理士ノ稱號
ヲ濫用シテ何カ惡イコトヲスルコトガア
タラ、其弊害ハ測ルベカラザルモノカト思
フノデアリマス、マダ「惡イコトヲスル
ニ付テハ時日ヲ要スルノデアリマスカラ、
此法案ガ發布ニナリマシテモ、サウ急ニ惡
イコトハ出來マイトハ思ヒマスガ、何レ其
内ニ斯ウ云フ案ハ改正ヲ要スルコトト思ヒ
マスガ、是ハ餘リ「ラベル」ニ拘泥シナイ
デ、實地ノ經驗ニ重キヲ置クト云フ意味カ
ラ致シマシテデスネ、丁度皆様ノ御手許ヘ
廻テ居ルデアラウト存ジマスガ、先頃、
是ニ付テノ修正案ガ商科大學ノ下野君カ
ラ、多分皆様ノ御手許ヘモ行ツテ居ルト存
ジマス、私モ何處カニ貼付ケテ置イタノデ
アリマスガ……ソレハ大體ニ於テ唯今私ガ
述べマシタヤウナ趣意デス、即チ實際ノ經

驗ニモウ少シ重キヲ置イテ、モット十分ニ
重キヲ置キタイノデアリマスケレドモ、サ
ウ餘リ極端ナコトモ望ム譯ニモ行カヌカラ
シテ、最小限度トシテノ實際ノ經驗ニ重キ
ヲ置クト云フ、其最小限度ヲ示シタモノデ
アツタノデ、アレハ皆様ノ御手許ヘ必ズ參
テ居ルコトト思ヒマスガ、已ムヲ得ザル場
合ノ處置トシテ、私ハ「アノ程度ノ修正ハデ
ス、實ハ希望スル次第デアリマス、皆様ノ
御質問ノ時間ヲ割愛シマシタコトハ甚ダ恐
縮デゴザイマス、甚ダ急ギマシタノデ支離
滅裂、私ノ申上ゲルコトガ意味ガ通ジナ
カッタウト存ジマス、唯、其中一二ノ御
質問ニ對シテ當局ノ答辯、御説明ヲ承ルコ
トガ出來レバ大變幸ニ存ジマス
○政府委員(野村嘉六君)「アクチュア
リー」權威者藤澤博士ノ「アクチュアル」ノ
經過並ニ「アクチュアリー」ニ對スル色ニ高遠
ナル議論ヲ聽カシテ戴イタコトハ感謝イタ
シマス、第一番ニ申上ゲマスノハ「アクチュ
アリー」ト此計理士トノ關係デアリマ
ス、藤澤博士ノ御説ニ依リマシテモ「アク
チュアル」ハ人ノ生死ニ關スル最高數學デ
アリマスガ、詰リ兎モ角モ生死ニ關スル統
計上ノ特殊ノ學術ノヤウニ拜聽イタシマシ
タ、私モ矢張り、サウ云フ風ニ感ジテ居ル
ノデアリマシテ「アクチュアル」ノ適用ノ
場合ハ生命保險デアアル、生命保險ニ對スル
數理ノ基礎ヲ成ス「ツ」専門ノ事實デアリ
マス以上ハ、生命保險會社ニ對スル或ハ「チ
ルメル」式トカ、或ハ純保險式トカ云フヤ
ウナ高級數學ニ關スル點ハ「アクチュアリー」
以外ニ於テハ其仕事ノ正確ヲ期スルコ
トハ出來ヌノデアリマス、故ニ生命保險ニ
對シテハ今日マデモ將來トモ「アクチュア
リー」ノ方式ニ依ツテ、サウシテ此仕事ノ
正確ヲ期ルスヨリ外ニ途ハナイト存ジマ

ス、計理士ハ申ス迄モナク一般的デアリマシテ、詰リ簿記ヲ基礎トシタ一般の會計ニ關スル事務ヲ執ラセルノデアリマスカラ、其出發點ガ異ナリ居ルモノト信ジマスカラシテ、私ハ計理士ト「アクチュアル」トハ決シテ相背馳スルモノデハナイ、斯ウ信ジマス、サウシテ萬一、生命保險會社ニ於テ生死ニ關スル統計以外ノ問題ニ對シマシテハ、即チ普通ノ會計ノコトニ關シテハ計理士ヲ用キ、若クハ其「チルメル」式トカ、純保險式トカ云フ方ノ問題ニ對シテハ「アクチュアル」ヲ用キル、兩々相對シテ行テ差支ナイト思フノデアリマス、殊ニ計理士ニ「アクチュアリー」ノ資格ヲ附與セシメ、又「アクチュアル」ニ計理士ノ資格ヲ附與セシムルト云フ必要ハナイト思ヒマス、若シ兩々相俟テ完全ヲ期スルヤウナ場合ニハ兩方とも用キテ、サウシテ其所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルト考ヘルノデアリマス、而シテ此「アクチュアリー」ノ制度ニ至リマシテハ、一ツノ法制上今日ノ計理士ノ如ク、又辨理士ノ如ク、辯護士ノ如ク、特殊ノ茲ニ法制上ノ資格ヲ附與シテ、法制上之ヲ認ムルヤ否ヤト云フ問題ニ至リマシテハ、今此處ニ言明スルコトハ少シナンデアリマスルケレドモ、藤澤先生ノ御理想ノ如ク、將來ニ於テ必ヤ其實現ガ期サル、モノデアラウト私ハ斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○藤澤利喜太郎君 此計理士ニ「アクチュアル」ノ仕事デナケレバナラヌト云フコトマデモ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、生命保險會社ノ監査ノヤウナ事マデサセルノデスカ

○政府委員(野村嘉六君) 「アクチュアリー」ニ關スルコトハ出來ナイノデス、是ハ御説ノ通り専門家デナケレバ出來マセヌ
○藤澤利喜太郎君 サウナケレバナラヌト

思ヒマスガ、此明文ニハソレガドゥモハッキリシマセヌ、例ヘバ此處ニ「アクチュアル」ノ仕事ガ載ッテ居リマスガ、其中ニハ恰モ生命保險會社ノ資産狀態ノ監査ト云フモノモ此計理士ガシテ宜イカノヤウニ見エマスガ……

○政府委員(野村嘉六君) サウ云フ考デナイ……

○藤澤利喜太郎君 當局者ガサウ言ハレテモ當局者ハ時々更ハルノデ、文書ニ於テソレガナイト甚ダ不安ト思フ

○政府委員(野村嘉六君) ソレハ通常ノ觀念ニ依リマシテ、私ハ其點マデハ判斷シテ宜シイト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 本日ハ是デ散會イタシマス、次回ハ何レ御通知ヲ致シテ質問ヲ繼續イタシマス

午後二時四十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵會我 祐邦君
副委員長 和田彦次郎君
委員

男爵伊藤 文吉君
內藤 久寛君
田村 新吉君
森 平兵衛君
松本勝太郎君

委員外議員

藤澤利喜太郎君

政府委員

商工參與官 野村 嘉六君

昭和二年三月十六日印刷

昭和二年三月十七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局